

那加三だより

那加第三小学校
学校だより
H30. 9. 21

学校の教育目標 「力いっぱい やりぬく子」
「活動の様子」をHPからもご覧ください！ HPアドレス <http://edu-kakamigahara.com/naka3sho/>

自分にはよいところがあると思いますか

(校長室より)

「自分にはよいところがあると思いますか」この質問は4月に実施した全国学力・学習状況調査で子ども達に問われた意識調査の質問の一つです。6年生児童は以下のように答えています。

当てはまる	26%
どちらかといえば当てはまる	36%
どちらかといえば当てはまらない	26%
当てはまらない	12%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした児童は62%。逆に、「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」と否定的な回答は38%。およそ10人に4人にあたります。この否定的な回答をした児童の割合は、岐阜県や全国と比べてもかなり高くなっています。

学校では今回の意識調査を分析し、いわゆる「自己肯定感」「自己有用感」を感じることができずにいる子どもが多いという実態を重くとらえました。子どもたちが生活し活動する場は学校、家庭、地域あるいは習い事など多様ですが、何かを成し遂げて自信をつけたり、自分の頑張りを認められたり、人とのかかわりの中で感謝されたりといった体験が十分ではなかったのではないかと考えました。

この結果について全校職員で共有し、学校で一人一人の子どもに活躍の場や教師や仲間から認められる場を意図的に設定していくことを確認し合いました。また、人前で大活躍する子だけでなく目立たなくても地道に努力する子や当たり前のように誠実に取り組む子の存在に、今まで以上に目を向け、認め励ましていくことの大切さも共通理解しました。

一つの取組として、学校では「ボランティア手帳」を活用して子どもたちの小さな頑張りを認め励ます営みを続けています。子どもたちは誰かのために進んで行った行為を自分のよさとして記録しています。50回成し遂げると手帳を持って校長室へ報告に来て記念撮影をします。子どもたちが取り組んだボランティアには洗濯物たたみや料理の手伝い、そうじ、弟妹の世話など家庭で役に立っている内容がたくさんあります。一方で、「学校で落葉を集めたよ」「スーパーで床に落ちている品物を拾って並べたよ」「下校途中にゴミを拾ったよ」など、学校や地域で自ら見つけて取り組んだ内容もあります。子ども達に「どんな品物だったの?」「拾ったゴミはどうしたの?」などと尋ねると、目を輝かせて答えてくれます。

ぜひ、家庭や地域でも、子どもたちの「見つけて(気がついて)」「進んで」取り組んだことを見逃さず、ねぎらいの声をかけてあげてください。「うれしいよ」「あなたのおかげで助かったよ」「ありがとう」の声を。



グラウンドに大きな山
台風21号が過ぎ去った後、風で吹き飛ばされた木の枝を拾い集めました。たくさんの児童がボランティア参加しました。



FBCの審査を受けました
環境委員会が中心となって4月から取り組んできた花壇づくり。9月11日に審査を受けました。台風の強い風にも負けずに咲き誇っています。



運動会まであと1週間

練習に熱が入ります。応援の声は日に日に大きくなっています。また、各学年の競技や演技の練習も進んでいます。「力いっぱい声」「きびきびした動き」「あきらめない心」を大切にしながら、あと1週間、頑張ります。